

刊夕日一十月一



定価一冊五円... 発行所 常磐高日新聞社

### 臺灣紀行

(五) 伊東 一

先般臺東廳下の兇蕃が巡査の家族を斃首し山奥へ逃げ込んだので本廳及各地より應援巡査出張し大砲機關銃を以て討伐し歸順した。

其附近の蕃社の有力な蕃人數十名を花連港から船に乗せて臺北見に連れて来た處其の驚異的な感想が面白い山の中から出てあらゆる文化の施設を初めて見た事として汽車汽船は勿論の事海の廣い事鐵の船が沈まぬ事、そして内地行の船に澤山の人が乗り込んで居るのに途中で沈まぬかと心配して居る。自動車オートバイの早い事、殊にオートバイを欲しいと騒ぎ廻つた。總督府の大きな石造りである事、箱イレーベーターに乗つたら上げ下げした不思議さその屋上から見たら人間が蟻の様に見ゆる事、臺灣神社に詣でる日本人を見て神様を大切にする人間とて感心、砲兵隊で馬を見せられ馬がよく人の云ふ事を聞いているとたまげた臺北病院で人の病氣をよく見てわかる事。色の白い奥さんに給仕してもらつて悦んで蕃社へも来て貰いたいと云つて蕃社へ歸つたら自分の家が鳥小

屋の様に思へると云つて居るとか、この四五十名の蕃人は當時余等基隆上陸の翌日見たが何れも異様な仕度をして巡査に連れられ列を作つて街を歩いて居つた。

### ノート

初の一献は飲めな けても受け盆に唇を當るだけでよい 二献目を勧められた時に辭退するのは失禮でない

屏東の公園内に幾百年前の城門朝陽門と云ふが朽ち果て廻り三四丈もある大樹の根にからまれて居るのが見えた。

この邊は今でも晝は夏の如く暑いが夜は涼しく日のさす宿の二階で晝寝して居れば晝でも風が冷たい熱帯

- 【朝】パントースト 紅茶
- 【書】ハムオムレツ
- 【晩】いため煮 豚肉

の風十病マラリヤも近時總督府指揮の下に人口のある所は衛生を重んじ、漸次竹籬を開き堀を埋潰して之が豫防にとめて少なくなつた亦蕃社は今迄開拓した蕃族の耕地を買つては山奥へ

移住せしめつゝあり之が爲蕃民も多少反感あれど蕃地開拓上詮なかる可し、蕃人は蕃社一同の作つた農作物を首長の處へ持つて行つて其分配を受けるものであると、あだかも共產黨の如き制度である。余等は明朝こゝを立つて嘉義へ戻りそれより製糖會社のある支線を巡廻せんとするものであるが、亦變つた話があれれば御便りを致します。

## 宗正らひた

美味! 芳醇!

山崎合名會社 電話一〇番

貨切車の御用の際は是非電話六四〇番尼子タクシーへ御願ひします。

尼子タクシー部 電話六四〇

かまぼこ製造 水産物

お惣菜用 さつま揚 吉原場 平町一丁目 電話一四一番

吸入用酸素 純度 99%

度量衡器 体温計 寒暖計

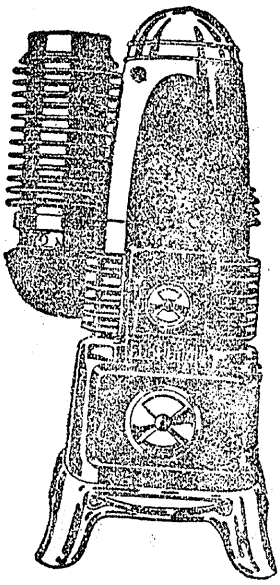
関内薬局 電話四〇番

寫真材料一式販賣致シマス

喜多流謠曲と仕舞の お稽古をお勧め致します

喜多流 仕舞 白土會

完全燃焼の爲め 煙筒掃除の要無き 日本一の フクロク、ストロブ



御申越次第カタログ持参 御伺ひ致します

釜屋商店 電話九番

阿部石炭商店 電話三七番

貨切の御用命は!!!

獅子吼(四四九ノ勢) 眞先ニ (マツサキ)

三九二タクシーへ!!!

# 軍國の春に

## 平驛の雑踏

### 十九日出發の

#### 本郡下入營兵

石城郡下各町村の本年度入營兵のうち来る廿日迄に入營する鐵道十二名、野砲十六名、工兵十三名、輜重十一名、電信飛行各十名、歩兵六十四名、合計百四十六名はいづれも来る十八日迄に平町に集合翌十九日午前八時十九分平驛發下り列車で仙臺野砲二聯隊への入營者に引續き夫々出發するの驛頭は見送り人が山積して軍國の春らしい雑踏を見らるゝと因に入營兵の出發時間及び郡下各町村の入營者左の如くである

(下り午前八時十九分)野砲二聯隊、仙臺工兵二大隊、仙臺輜重二大隊(上り午前九時一分)鐵道聯隊、飛行聯隊、電信聯隊(警越線午前九時)歩兵廿九聯隊▼千葉鐵道聯隊(湯本)鈴木千里(永戸)遠藤末好(豊間)小林丑松(平町)國井正一 丹野勝榮 山田勝(平窪)福田信武(草野)根本友幸(泉)川澄清助(植田)佐藤正治(川前)會田桂助(神谷)志賀熊雄▼仙臺野砲二聯隊(湯本)吉田菊衛(澤渡)鈴木沖治(田人)芳賀末治、綠川政(磐崎)鈴木芳雄、藁谷友光(鹿島)高萩光雄

(赤井)佐藤秀夫、大平博光(江名)金成八郎(入遠野)靜拂信芳(泉)有馬長平(小名濱)鈴木道信(植田)吉野保、渡邊芳雄(神谷)林正喜▼工兵二大隊(湯本)高橋清文助(澤渡)永山源吾(田人)稻村勝義、榑田源治(永戸)遠藤正爲(磐崎)大樂武入(江名)大島一郎(泉)上遠野耕作(大浦)高崎高義(小名濱)齊藤文男(勿來)中野大九、山岸梅茂(四倉)鈴木重吉

▼輜重二大隊(田人)陳野市藏(永戸)遠藤正(磐崎)吉田德壽(赤井)佐藤茂雄、渡邊柱田一(小名濱)諏方光(山田)小松正一郎、蛭田二朗(玉川)高萩新一(四倉)鈴木松男(錦)坂本敏雄

▼中野電信隊(永戸)長谷川七五三喜(江名)小泉芳三、秋山要(平)關原司(入遠野)平戸爲一(草野)坂本四郎(上遠野)上遠野正一(泉)小泉久米八(山田)木内庄次(神谷)相川武男

▼濱松飛行聯隊(永戸)合津喜四男(平)友部芳久(平窪)松本忠平(小川)柳内五郎、吉田忠一(小名

濱)田邊茂(勿來)丹生源一(内郷)石上榮(夏井)矢吹農夫雄(四倉)門馬敏勝▼歩兵二十九聯隊(澤渡)草野正明、小島淺四郎(田人)綠川重次郎、小野源吉、小野文彌、大橋榮太郎(永戸)草野初惠、青木正義、高萩芳長、遠藤恒正(磐崎)佐藤正二(豊間)鈴木福松(錦)小野嘉内、佐川敦(赤井)大平一夫、矢吹勇平(江名)高橋正、江名馨、金成福彌、作山長一郎(平)栗木富士夫、松田一、本間七五三吉、佐藤勇治、大河内寅男、澤上武雄、須藤庄一、高野静次(入遠野)鈴木喬、佐藤子之太郎(草野)渡邊繁、片寄武、片寄正(好間)野崎廣司(上遠野)柳田實(小川)井戸川正雄、萩野一之(泉)吉田毅夫、志賀阿喜良、吉田雪雄、鈴木俊成(渡邊)田中弘荒川繁雄(飯野)伊藤和(山野)邊壽勝、小林武光(小名濱)井川茂雄、小酒寅吉(勿來)小松憲清、蛭田武壽、舟生德次、齊藤文作(植田)柳葉勳夫、古和口正、大平求、長谷川英男、小野雄、休橋喜男、猪狩幸三(山田)柏原嘉右衛門、鈴木房之助、蛭田順一、瀬谷正(川前)矢内總吉、遠藤信太郎(神谷)大泉正男(大野)木村正文、會田芳一(夏井)箱崎昌雄、小林定雄、矢吹伊勢松(四倉)大和田正美

## 一毛作指導

### 擔任者を夫々決定

石城郡農會では縣農會と協力して郡下各農村の水田二毛作に依る増殖獎勵の爲め今回大麥及び菜種等の指導地を設置する事になり先づ各農村より指導擔任者を選中であつたが此程左の如く決定した

(大麥)泉三戸良治 錦荒井一二 江名河野一世

(菜種)四倉遠藤寅雄(菜種)平大野倉七 草野片寄勇 赤井矢野恒平

## 縣主催農事講習

來月十九日から泉小學校に

石城郡に於ける縣主催農事講習會は來月十九日より廿三日迄泉小學校に開催されるが講習科目は作物及農具園藝の病中害路土肥料法等である

## 本縣から茨城縣に貫くトンネル竣工

近く協賛會を起して盛大な落成式を舉行

既報勿來町と平瀉町との縣境にある本縣側九面トンネルは昨年四月以來工費三萬五千圓を投じて開鑿工事中であつたが昨十日愈々竣工したので勿來平瀉の兩町では近く協賛會を起して盛大な落成式を舉行すると

## 平町教育會

### 九年度豫算

既報平町教育會では昨日午後十時より町役場會議室に於て役員會を開き八年度決算並に九年度の豫算に就いて種々協議したが九年度の歳入出豫算は左の如くである

- △歳入合計四百六十六圓
- 會費二六〇、〇〇 平町費補助金一〇〇、〇〇有
- 志寄附金一、〇〇 領金
- 利子五、〇〇 前年度繰越金一〇〇、〇〇
- △歳出合計四百六十六圓
- 事務費一〇、〇〇 總集會費五〇〇、〇〇、講演及講習會費五〇、〇〇、事業調査費六五、〇〇、平教育發行費一三〇、〇〇、部會負擔金一三五、〇〇、雜費一〇、〇〇、豫備費一一、〇〇

近く工費三千圓を以つて倉庫を新設し穀の貯藏を行ふべく目下敷地を選定中

木澤教諭奉職 平町研古區長木澤常松氏令息一郎氏は今回喜多方中學校教諭を奉職する事となり近く赴任すると

## 平町人事

- △正月町一〇 鈴木道男氏 長女キミ子
- △七軒町四〇 當時東京市 麴町區永田町二ノ三〇鈴木季義氏長女啓子
- △死亡 三丁目二二 當時平窪村 字上岡馬目悦善氏三女泉子

玉屋 平町田町通電話六五六番

今流行の唄

福島音頭 東京音頭 昭和音頭

其他流行歌各種取揃へてあります

平町五丁目 金光堂時計店 電一九五

# 差押中の米を

## 食へて露命を繼ぐ

### 哀れ豪農のなれの果て

#### 横領で起訴さる

双葉郡大野村大字上野神字  
江戸神澤農羽根石松(五)は  
元同村

#### 指折の豪農であつた

が打續く農村不況に零落し  
て數年前より同村志賀榮藏  
氏の田地を小作し細い煙り  
を立てゝゐたが矢の様な權  
足を受けても小作米を支拂  
ふ事が出来ず其儘納米せぬ  
ので地主の志賀は平區才判  
所に之れが請求の訴を

#### 提起し 稻二反歩約四

石の仮差押へを行つたが羽  
根石は右の差押中の稻を全  
部食糧に當ててしまつたの  
で遂に此程告訴沙汰となり  
過般來平檢事局に於て三堀  
檢事係りの下に

#### 取調べ 中であつたが

本日横領の罪名の下に起訴  
され來る二十日第一回の公  
判を開廷される事になつた

# 踏臺に立ち

## 引摺り落さる

### 運轉助手の奇禍

江名町大字仲ノ作字榎戸自  
動車營業者吉田金司方運轉  
手遠藤六郎(三)は昨十日午  
後六時頃トラックに土砂を  
満載し助手の佐藤留雄(三)  
を車外の踏臺に立たせ同字  
地内を進行中同く吉田金司  
方運轉手加藤正のトラック  
と行違ひの際踏臺の佐藤は  
加藤のトラックに引摺り落  
され左大腿部に全治六週間  
の重傷を受けたと

#### 箕輪助役推薦 箕輪 永戸組合村では豫てより助

# 初を貯藏

## 神白兩部落

江名町大字上下神白の兩部  
落では初貯藏に就いて協  
議の結果去る五日迄に上神  
白では同字丹野彦太郎方土  
藏に二百四十石、下神白で  
は海野善四郎方土藏に二百  
六十石をそれぞれ貯藏した

# 伊勢参り

## 平驛で募集

平驛では成歳新春の伊勢参  
りと高野山詣で六日間の團  
体旅行を募集中であるが第  
一回は二月二十五日出發三

# 分離を策動する

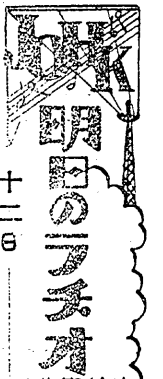
## 團員を除名處分

### 研古青年分團の結束

平町研古青年分團では昨日  
午後一時よりときわにて總  
會を開き役員を  
團長大久保善八郎 副團  
長白土作三 山崎忠兵衛  
幹事佐々木左武郎以下四  
名  
と決定更らに研古兩町の團  
員を分離せんとし種々策  
動せるものと認められた遠藤平  
八郎外五名の團員を除名處  
分に附し紛糾の根を絶ち今  
後同分團の結束を一層強固  
ならしむる旨の申合せをし  
た由

# 八巻訓導送別

二小學校では此程同校訓導  
八巻陽太郎氏が第一校に轉  
任されたので本日午後四時



明日のラジオ

今晩の部  
後六、〇〇 子供の時間  
吹奏樂 仙臺少年團健兒  
音樂隊  
後六、三〇 二元放送 東  
西對局將棋大手合第十日  
後七、三〇 舞臺劇 申中座  
より中繼 心中宵庚申中  
村鷹治郎一座

後九、三〇 時報 ニュー  
ス、氣象通報 番組豫告  
明日の部  
前七、〇〇 基礎英語講座  
(三)岡倉由三郎  
前九、一〇 料理献立「コ  
ロケドアラナランテーズ

朝倉長吉  
前一〇、三〇 家庭メ  
前一〇、三五 家庭講座  
後〇、〇五 映畫物語「僕  
の青春」泰春堂  
後二、〇〇 婦人講座「女  
詩人のうたつたわが子の  
詩」深尾須磨子  
後三、三〇 春場所大角力  
實況 初日國技館より中  
繼  
後五、三五 受驗講座「和  
文英譯」岡田實麿  
後六、〇〇 子供の時間

お話「冬の寫眞」添田嘉  
一  
後六、三〇 二兄放送東西  
對局將棋大手合(第十一  
日)  
後七、三〇 講演「國民精  
神作興と頼山陽學生の努  
力」光本半次郎  
後八、〇〇 映畫劇「玄關  
番とお嬢様」藤井貢 逢  
初夢子外大勢  
後八、四五 義太夫攝州合  
邦辻合邦内の段 竹本小  
仙

# 温いお辨當に

## 警女生大喜び

### けふから温飯器使用

警女では昨今俄に寒氣が嚴  
しくなつたので本日より各  
學級に温飯器を配置し辨當  
の保温に使用する様になつ  
たので生徒一同大喜びであ  
る

# 裁判所だより

△豊間村大字豊間字柳町生  
れ目下住所不定無職四家眞  
太郎(三)が江名小名の兩漁  
場を専門に荒した窃盜事件  
の公判は本日午前十一時よ  
り平區才判所に於て中島判  
事係り三堀檢事卒會の下に  
開廷され事實訊問か上拘普  
處分に附されたが次回公判  
期日は造て定むと

# 喜多流の

## 白土會温習

平町町喜多流謡曲仕舞白土  
會では來る十三日午後三時  
より同稽古舞臺で平、好間  
四倉、湯本及び婦人組と合  
同第三十六回月次温習初會  
を催すが當日の素謡番組は  
左の如く番外として白土喜  
伯、上野八郎、須田哲二郎  
諸氏の仕舞並に素謡がある  
管  
翁、月宮殿、田村、千壽  
羽衣、夜討會我、船辨慶

# 平職業紹介所報告

回人を求める方  
△三助 五十迄 月二圓位  
△女中 二十前後 尋卒

# 難波醫院

平町 大町  
電話五〇二  
△自動車運轉手 二十一才  
高卒 給料面談  
△小使 二十七才 尋卒  
給料面談

# 木村外科醫院

門專 科病柳花外  
院醫科外村木  
際橋目丁五町平  
〇九三話電

の物刷印  
て總は命用御  
會社刷印日每警常  
番〇三六話電



【禁無斷轉載上演映畫】

寶井馬琴 演  
山本英春 畫

第三百二十九回 徳川家に崇る村正

三十兩を百兩に

七「何だと、百五十兩だ、巫山戯ちやアいけない、素性の知れぬえ物を、そんな馬鹿げた値段で買ふ奴があるものか、第一百五十兩といふのは半端だ」  
西「ナニ夫アお前の方で最初五兩といつたから御意見尊重して附けて置いたのだ」

七「そんな事は尊重なんぞしねえでも宜い」  
西「夫アモウ五兩位の事なら引いて置く」  
七「嫌だよ、買はねえよ、外へ持つてお出で」

西「そんな竟地の悪い事をいはないで買つて置いて呉れ、ぢやア斯うしやうモウ半分買つて七十五兩」  
七「又五兩半端が出たな、その五兩は氣になるから取つて了ひなよ」

西「私の方は些とも氣にならんがなマアい、五兩負けて七十兩、サア手を打たうか」

七「まだく却々そんな事ぢやア買へない、モウ半分に負けて了へ」

西「エ、ッ、その半分にかえ、七十兩を半分にしたら三十……アッ、いけない」

又五兩の半端が出た、氣になるから五兩負けろ、負けるといへばそれをまた半分にしろ、今度は十五兩だ、何處まで行つても五兩はつさものだ、そんなに抑慮はないで幾らで買うか眞正の事を云つてお呉れ」



七「今度は其方で五兩づつ上げる氣かえ、三十兩なら買つても宜いが、それ以上なら買ふのはよさう」  
西「ぢやア仕方がないから賣らう、三十兩で賣つて終まう、一寸金の入用な事があるから」  
七「極つてるぜ、又吉原か千住邊りへ行つて變な女に入り上げるのだらう」  
西「それく序にお手の筋といふ處さ、之も惚れられた因果、女人濟度の爲と思へば仕方がない」  
七「勝手にしなせえ」  
西念は七兵衛に三十兩で刀を賣渡して、其の儘歸つ

七「イヤ之ア悪かつた、夫なら眞正の處を云ふが、先づ中身は別として、こしらへが宜いから三十兩で買つて置かう」  
西「三十兩は安い、どうだ、モウ五兩買上げて呉れないか」

て終ふ、後で北叟笑んだ七兵衛が  
七「有難えく福の神が舞込んだやうなものだ、さて之を何處へ持つて行つたものか、だが斯ういふ時に入先にも大名でもあるとウンと大きな儲け山來るが、高

が二百石や三百石のお旗本ぢやア、莫迦げた儲けもねえ、どうか大名屋敷の一二軒、得意にはしいものだなア……待てよ、鳥越の溝口五左衛門様、小普請入りぢやアあるが三百五十石、大分工面の宜い人だ、俺の大分事な得意の一軒、何日か話の中に、刀は武士の魂、銘刀がほしいものだ、貴様は刀屋ぢやアないが、諸家へ出入りをしてゐるやうだから、又都合で先祖重代の寶物だが、手放したいといふやうな人がないとも限らん、さういふ出物があつたら周旋をして呉れると頼まれた事があつた、先づあの溝口様へもつて行けば話が早からう」

と斯う考へたので、翌朝彼の村正を風呂敷へ包むと程近い鳥越の溝口五左衛門といふ旗本の屋敷へ来た七「エ、旦那様、暫らくどうも御無沙汰を致しました……」

五「オ、之は七兵衛、珍らしいな、何か當家に向きさうな品でも手に入つたと見えるな」  
七「へ、へ、恐れ入りました、仰の通りでございます」  
五「何だ」  
七「銘刀でございます」  
五「銘刀……何か、其方は刀の方もやるのか」  
七「イエ別に刀を商ふと云ふ譯ではございせんが出入先のお屋敷から頼まれましたな、お氣の毒と近頃御勝手元不如意、それゆえ先祖傳來の品ではある

が、手放して金に替へ、急場を凌ぎたいといふ事で、どうだ七兵衛、お前の出入先に幾らも富貴な處があらう、之ア無銘ではあるが眞宗の銘刀だ、百金ばかりに手放したいが、世話をして呉れまいか、貴様にも相當の禮をしてやると云ふやうな譯で、お預かりして參つたのでございませう、いづどや殿様がさう仰しやいましたな、刀は武士の魂だから銘刀がほしいと……」  
五「左様々々、そんな事を云つた覺えがある、眞宗と云へば大層なもの、お金は安い、兎に角拜見をせやう」  
五左衛門先づこしらへに目を通し、ギラリ引抜いてためつ、しかめつ見てゐる

が、手放して金に替へ、急場を凌ぎたいといふ事で、どうだ七兵衛、お前の出入先に幾らも富貴な處があらう、之ア無銘ではあるが眞宗の銘刀だ、百金ばかりに手放したいが、世話をして呉れまいか、貴様にも相當の禮をしてやると云ふやうな譯で、お預かりして參つたのでございませう、いづどや殿様がさう仰しやいましたな、刀は武士の魂だから銘刀がほしいと……」

五「左様々々、そんな事を云つた覺えがある、眞宗と云へば大層なもの、お金は安い、兎に角拜見をせやう」  
五左衛門先づこしらへに目を通し、ギラリ引抜いてためつ、しかめつ見てゐる

七「イヤ別に刀を商ふと云ふ譯ではございせんが出入先のお屋敷から頼まれましたな、お氣の毒と近頃御勝手元不如意、それゆえ先祖傳來の品ではある

ほしやなぎ  
いかの鹽から  
鱈魚の子  
魚問屋  
最優最大日本生命平代理店  
志賀盛榮  
平四丁目(電二三一)

美味で！  
評判の……  
イワキ  
サロン  
電話 352

理想の治淋薬出現す  
一般貴薬、熱療器類に不満を感じた患後の良薬として本薬を紹介いたします。  
●本薬は有り觸れた白檀油系統の平凡薬でなく、独自の注射原薬を主剤とし外に洋薬及漢薬數種の特効成分と利尿薬が配合され特に胃腸腎臟障害等の副作用を絶無ならしめた安全薬で又錠劑で有ります。  
強力殺菌内服注射原薬配合  
ザロス  
消渴 淋病  
分用 ¥2.00  
症用 ¥3.00  
重 用 ¥5.00  
發賣元不二藥品商會  
平町田町(松月堂向イ)  
特約店 阿部薬舗  
耳鼻咽喉科専門  
鈴木醫院  
醫學士 鈴木正男  
平町田町(電話五八番)  
藤田女學校前  
自炊のお需めに應ず  
入院の便あり